

2022

同友しずおか

9

「入ってよかった」「続けてよかった」「企業も地域もよくなった!」

VOL.526



私の逸品

山口プランニング

ピポットターンで生まれた
トレーラーハウス製造販売



静岡県中小企業家同友会



中小企業家同友会とは

静岡同友会は1974年に71名の経営者が呼びかけあい、設立されました。約1,100名の経営者が、「経営体質の強化」「経営者の能力向上」「経営環境の改善」をめざし、活動しています。全国各地で開催される全国大会をはじめ、県全体で行う定時総会・全県経営フォーラム、また、経営課題別の専門委員会、県下11支部での活動、行政や関係諸団体との懇談、連携等、多岐に亘る活動をしています。

同友会3つの目的

1 よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

2 よい経営者になろう

同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

3 よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

- 社長はいつも孤独
- 経営の悩みを相談する仲間ができた
- 経営の成功体験しか聞けない
- 失敗談から勇気とヒントをもらえた
- 目の前の仕事に追われる毎日
- 将来の会社のビジョンができた
- 指示待ち社員ばかり
- 自発的な社員が増えた

その答え、
同友会にありました。

会 員 募 集 中

経営者同士だからこそ話せる
悩み、解決へのヒント、将来への展望。
体験してみませんか？

静岡県中小企業家同友会 TEL/054-253-6130
〒424-0857 静岡市東区御幸町1-1-1 静岡ビル6F FAX/054-255-7620 E-mail/douyukai@tdouyukai.jp

◆静岡同友会 2025年ビジョン 「企業づくり・地域づくり・同友会づくり」

◆ 企業づくり ◆

私たちは、関わる全ての人々が「成長」と「幸せ」を実感できる企業をつくります

◆ 地域づくり ◆

私たちは、中小企業と地域が手を取りあい、人々の幸せが見える地域をつくります

◆ 同友会づくり ◆

私たちは、企業と地域を守る経営者の^{きょうじ}矜持と努力を結集し、
学び・気づき・ワクワク溢れる活動を通して県下1500名会員を実現します

2025年ビジョンの実践

【第15回】

グループ長研修を通して社員から本音を引き出すために

「2025年ビジョンの実践」では、ビジョンプロジェクトメンバーが静岡同友会2025年ビジョンを自社の未来と重ね合わせ、いかに実践していくかをコラム形式で毎月掲載していきます。

昨年まで理事という立場で同友会に関わらせてもらいました。中でも2025年ビジョン「同友会づくり」というテーマでは様々な方の意見を聞かせてもらいながら自分なりに同友会づくりについて考えました。大切なのはやはり「メインである例会をいかに活発に楽しく、参加して良かったと思ってもらえるか」。当時は、支部例会企画委員長として例会を企画する中で、県例会企画委員長として例会を考える中で、毎回しっかりと報告の内容を考えてきたつもりですが、魅力ある例会を作るにはグループ長の育成が必須ではないかと思うようになりました。そこで度々グループ長研修を行ってきましたが、まだまだ参加者が少なく思うような結果を残せないこと、自分自身のスキルも納得いくレベルにはないことを痛感しました。

会社の方はというと、これまではなだらかに右肩上がりの業績を維持してきました。しかしDXなどペーパーレスの流れが加速していき、自社も印刷の形態を時代にいかに合わせていくかという課題を突き付けられています。社員からも会社の方向性を考えるうえで様々な提案をしてもらいたいと思っていますが、まだまだ途上段階です。これからの時代、自分の考えだけで会社を伸ばすには限界があると思います。社員と本音で向き合い、社員を巻き込み主体的に意見を出してもらうことで、様々な会社の課題を解決していくためにも、グループ長のスキルをもっと磨く必要があると感じています。同友会で得る学びで会社に役に立たないものは一つもない。自社も同友会も盛り上げていくために今後も委員会のメンバーとして活動していきます。

宮田 博文氏 (有)ミヤタ印刷・静岡支部)



ピポットターンで生まれた トレーラーハウス製造販売

山口プランニング (志太支部)

代表 山口 剛史氏



左から大池氏、山口氏、渡部氏

土木工事を軸に生まれた 新たなビジネス

土木工事を生業とする家の次男として育った山口氏。大学を卒業して自動車のディーラーに就職しましたが、土木工事への想いを断ち切れず、社会人3年目に兄が事業承継した実家に入社します。その後2012年に山口プランニングを立ち上げて独立。当初は土木工事の下請けがメインでしたが、お客様の顔が見える仕事もしたいと考え、新しいビジネスを加えていきます。その一つがトレーラーハウスの製造販売です。トレーラーハウスという米国などで製造された既製品を輸入販売するイメージですが、同社ではシャーシの組み立てから上もののハウ



トレーラーハウスも最初はシャーシのみ

スまで一貫して製造します。打ち合わせを重ねて製作するトレーラーハウスは全てオリジナルの一品もの。事務所仕様にも海辺のリゾートハウス風にもコーディネートにも仕上がります。トレーラーハウスは法令上の条件を満たすことで、固定資産税などの税金がかからず、また短期間で減価償却が出来て、市街化調整区域にも設置可能になります。社会人経験を生かした自動車の世界と土木工事の融合です。

トレーラーハウス事業は「ピポットターン」

同氏は自社の業態追加をバスケットボールの「ピポットターン」に例えます。軸足を固定しながら回転してパスを出すピポットさながら、土木という軸足を固定しながらもう一步の足を相乗効果が予想できる事業を探し出したのです。トレーラーハウスは、設置に伴う外構整備など土木事業と切っては切れない関係にあります。現在まで特別な宣伝広告は行なっていませんが、同氏の交友関係からの引き合いで継続して依頼が入っているそうです。また、トレーラーハウスのノウハウはけん引式のキッチンカーの製造販売にも役立つと言います。



富山県に納品したキッチンカー

もう一つのピポットターン

同社が最近取り組んでいる事業にドローン講習事業があります。同氏は「この事業もピポットターンで生まれた」と言います。「土木工事の世界でもDXの波は確実に押し寄せている。ドローンは測量や建築物の劣化確認だけでなく、将来は一般家庭への荷物配達にも使われるようになるのではないかと考えており、各家庭にドローンの発着所（ポート）が必要になった時にはぜひ自社で工事を引き受けたいと夢を描きながら、ドローンの普及からはじめています」と語ります。

同友会に期待すること

2021年11月、寺島雅之氏

山口プランニング

〒426-0055 藤枝市大西町2-14-7

TEL : 054-689-5280

URL : <https://yamapla.info/>

設立 2012年

社員数 4名

入会年月 2021年11月

事業内容 土木工事・トレーラーハウス製造販売・ドローンスクール事業・損害保険代理店

(株)藤枝パークインホテル・志太支部)の誘いで同友会に入会した同氏は「これから訪れる経営者として判断しなければならぬポイントについて相談できる団体は同友会だけだと思っている。一人ではものごとを見る眼が固定化し既成概念に囚われがちになるが、同友会のメンバーを通して新しい発見や刺激をもらいたい」と語ります。次々に新しいアイデアを事業に取り込んでいる山口氏が同友会でどんな体験をするのか、私たち取材陣も楽しみです。

取材・記事：村松繁氏

(アイマーク(株)・志太支部)

取材：大池盛二郎氏

(南カリーライフ静岡・志太支部)

取材：渡部浩樹氏

(RAWタナベ・志太支部)

加工技術を生かし、プラスチックの
オーダーメイド品を提供

(有)杉山プラスチック工業
代表取締役 杉山 郁也氏 (静岡支部)



社屋外観

昭和50年創業の
プラスチック加工会社

プラスチック加工を手掛ける(有)杉山プラスチック工業の杉山郁也氏を訪ねました。杉山氏は平成26年の社長就任を機に同友会に平成会、現在は静岡支部の組織拡大副委員長として活動しています。

同社は、杉山氏の父で現会長の杉山芳夫氏が昭和50年に創業しました。創業当初は、海外でプラスチック製品を生産するという体制が整っていなかったため、国内のプラスチック生産需要は非常に多く、当初はアクリルケースやプラスチックカードなどを芳夫氏が手作業で作っていたといいます。

現在は地元企業だけでなく、全国からも依頼を受け、アクリルケース・什器・ディスプレイ看板などプラスチック製品を製造しています。お客様は金融機関や宿泊施設、大手ホームセンター、外食チェーン、アミューズメントパーク、自動車工場、食品工場、半導体メーカーなど多岐にわたりますに合わせた製品の提供が強みとなっています。

モットーは3Sの精神で製品を届けること 自社製品も好調！

同社では、様々なプラスチックの加工技術を応用し、お客さまに3Sの精神 (Super・Speedy・Satisfactory) 上手い・早い・安い) で製品をお届けすることをモットーにしています。取扱商品は全てオーダーメイドであることが特色です。



登呂博物館のトロペー
コラボレーション



自社製品のアクリルパーテーション
「キコバ」

自社製品も好評とのこと。刑務所の面会窓口を作った経験をヒントに声が聞こえやすいパーテーション「キコバ」を開発。中央にマグネットを着脱できる穴板を備えたアクリル板パーテーションです。穴は互い違いに開けられているので、飛沫の心配がありません。また、180度反転すると穴が合う設計のため、アフターコロナでは、更に聞こえやすいパーテーションとして使用できます。

地域との関わり合い

杉山氏は、地域の為に活動することも大切にしています。小中学校のPTA活動で、地元竜爪山登山企画をはじめ、JAやお花屋さんや協働し卒業式に静岡産の生花を5000本装飾したこともあるそうです。昨年は、趣味のトライアスロンを活かし「しずまエトライアスロンin静岡」の発起人の一人として、第1回大会を開催しました。現在は9月18日に予定している第2回大会の開催に向け日々準備をしており「これからも世の為、人の為、地元静岡の為に活動していきたい」と意気込みを話してくれました。

加工技術伝承のため
若手の育成へ

杉山プラスチック工業は3年後に創業50周年を迎えます。良い意味で「何でも屋」でやってきたからこそ、景気の波に左右されずに



しずまエトリアスロンin静岡ゲート看板

事業を続けてこられたといいますが、コロナ禍ではテナント出店が少なくなり看板製作の仕事が減りましたが、一方で飛沫防止パーテーションの需要は伸び、売上を維持することができたそうです。

「今後の目標は生産体制を強化し、加工技術の後世に伝えていくためにも若手の育成に力をいれていくことだ」と杉山氏。「経営理念である『世の中の困りごとをプラスチックで解決する』を忘れず、お客さまに喜ばれ、頼りにされる工場であり続けたい」と語りました。

取材・記事：藤本 浩氏

プリントバリエー(株)・静岡支部

(有)杉山プラスチック工業

〒420-0804 静岡市葵区竜南1-26-1

TEL : 054-200-2525

URL : <http://www.acryl.co.jp>

創業 1975年

社員数 8名

入会年月 2015年11月

事業内容 アクリル什器、エンピ
溶接、看板製作

2022組織強化・会員増強全国交流会

ビジョン実現に向けて

今年度1200名達成へ

企業と地域の未来を見据え、

強靱な体質の同友会づくりを

8月25日(木)、2022組織強化・会員増強全国交流会がオンラインで開催され、全国47同友会と中同協から約400名、静岡同友会から12名が参加しました。

はじめに広浜泰久中同協会長より、「コロナ禍で一時は会員減に転じたものの、順調に推移してきている。これは、情報発信の迅速さや相談できる仲間の存在、なによりも活動を止めなかったことが大きな要因であると感じる」との挨拶がありました。

続いて、中山英敬中同協幹事長／5万名推進本部長より「全国の組織強化・会員増強の課題と今後の仲間づくり」をテーマに各市町村の組織率などデータに基づいて状況報告。地域内の企業数に対する同友会会員企業数を比較した対企業組織に関して、静岡県内では牧之原市が14.61%、御殿場市が10.78%と地域内の100社に1社以上が同友会会員企業となっている。

その後の事例報告は「集えー燦然(3000)と輝く」が広島同友会、「すべては行動することから始まる」をテーマに、純増日本一となった広島同友会の広島東支部の取り組みを報告。続いて「会員数が伸びている支部の特徴と役員・事務局一体となって最高会勢に！」をテーマに、過去最高会勢を更新している神奈川同友会の事例が報告されました。

グループ討論は「同友会のすばらしさを

魅力をどう伝えていくか。戦略的に増強を進める仕組みづくり、具体的な行動(戦術)はどうしていますか」をテーマに、各地同友会での現状や取り組み、課題が共有され、今後の実践に繋げるグループ討論となりました。

グループ発表の後、最後に田浦通中同協副会長より「戦略の出発点はリーダーの意識が大切。全てにおいてまずは行動すること。さまざまな文明の利器を活用しながら仲間づくりに取り組みしましょう」とのまとめがありました。

静岡同友会の参加者からは「支部での取り組みでいきたいことが見つかった」「同友会の魅力を再確認できた」「楽しく仲間づくりに取り組みでいきたい」などの感想がありました。

ワクワク・楽しへ

1200名達成を目指す!

静岡同友会は2025年(ビジョン)(下段参照)の発表から2年目となる2022年度「1200名会員の達成」を目標に掲げています。毎月行われている県理事会で6月から「1200名達成に向けて」をテーマに会員増強の意義を再確認することも、県同友会として取り組む具体的な戦略や各支部での取り組みを共有しています。また、各支部役員会でも役員研修会の実施や役員会で会員増強の取り組みを議論するなど、目標達成に向けた動きが加速しています。

2025「ビジョン」より 同友会へ

私たちは、企業と地域を守る経営者の矜持(きよじ)と努力を結集し、学び・気づき・ワクワク溢れる活動を通して、県下1500名会員を実現します

① 企業と地域を守る経営者の矜持と努力を結集しよう!

企業を守る、社員を守る、そして地域を守る確固たる決意と企業変革への挑戦が私たち経営者に求められています。経営者としての矜持(きよじ)を持ち続けることと努力を、互いに語りあい、励ましあえる会活動を創りましょう。会員は同友会での学び・気づきを自社で実践し、同友会と企業経営を不離(ふり)一体に話ができる「語り部」に溢れる経営者団体にしていきましょう。

② 学び・気づき・ワクワク溢れる活動を展開しよう!

経営者だからこそ得られる学び、異業種だからこそ見える気づき、新しい会員との出会い、生涯に亘って語りあえる真の友人との出会いなど、同友会の中で、我が経営を語りあう、多くの学び・気づき・ワクワクが溢れる場や機会を、役員と事務局が連携して作っていきましょう。他支部や県専門委員会、県行事、全国大会にも積極的に参加しましょう。

③ 会員増強は経営者にできる最大の地域貢献!

「同友会があつてよかった」と思える活動を展開し、企業を守る・社員を守る・地域を守る新しい仲間を増やしましょう。会員増強は経営者にできる最大の地域貢献です。互いを思いやり、本気本音で語りあえる仲間を増やし、1500名会員(対企業組織率3%)を実現しましょう!「入ってよかった」「続けてよかった」と会員誰もが実感できる経営者団体でありましょう。

④ 事務局は同友会運動のプロであり続けよう!事務局の役割と期待

事務局は会員と共に同友会理念の実現を推進する私たちの大切なパートナーです。事務局員は積極的に役員と話しあい、同友会運動の主体者として自覚と責任を持ち続けましょう。労働環境の改善、共に育ちあう風土づくり、教育と教養の向上を図り、会員からあてにされる事務局づくりを進め、同友会に入ってよかった、続けてよかったと思える事務局にしていきましょう。

⑤ 積極果敢に変化へ対応する経営者団体になろう!健全財務の拡充と組織の改革と整備を

2025「ビジョン」の実現をめざし、時代の変化に柔軟に対応していく経営者団体でありましょう。1500名、そして2000名会員体制を見据え、現状の組織や活動、財務の在り方を検討し、組織の改革と整備、健全財務の拡充を積極果敢に推進し、よりよい静岡同友会の姿を会員・事務局で創っていきましょう。



こんな悩みや課題、疑問はありませんか？

- ・目まぐるしく変化する経営環境への対応に課題がある
- ・金融機関とより良い関係を築きたい
- ・自社の未来を描きたい
- ・経営指針書の活かし方を知りたい
- ・国の中小企業支援の方針はどうなってる？
- ・なぜ中小企業家が中小企業憲章・振興基本条例を学ぶのか？
企業づくりにどのように関係するのか？



学習会ではこんなことを学び合います！

- ・金融機関とのより良い関係づくりを学びます。
- ・国が金融機関の伴走支援ツールとして推進するローカルベンチマーク、経営デザインシートの使い方を学びます。
※ローカルベンチマーク：経営の現状を可視化するツール
経営デザインシート：事業の将来を構想する補助ツール
- ・同友会が憲章・条例運動に関わる意義を学びます。

自社経営のさらなる発展の機会として
ぜひご参加ください！

自社の未来を描くヒントがここにある！
9月28日(水) 中小企業憲章・中小企業振興基本条例学習会
「中小企業経営者の稼ぐ力と自己変革力の向上にむけて」

憲章条例学習会と聞くと皆さんはどのようなイメージをお持ちになるでしょうか？「憲章？条例？」こんなイメージではありませんか？昨年は国が推進するツール「ローカルベンチマーク」と「経営デザインシート」を活用した金融機関との関係づくりを学びました。これは同友会が推進する経営指針を書き写すだけでほとんど完成するほど親和性が高いことを知る機会となりました。森氏は未だに収束が見えないコロナ禍、ウクライナ問題、カーボンニュートラルの推進など、激動する経営環境下において「現状の延長線上に未来はない」と話します。学習会では年商の2倍の負債を抱えた企業が金融機関の伴走支援を受けともに立ち上がった実例や金融機関との関係づくりをはじめ、今年3月

に中小企業庁が発表した中小企業伴走支援モデルなど、企業づくりに関わる内容をお話しいただきます。「中小企業が社会経済の主役」と謳われる中小企業憲章・条例が地域づくりの羅針盤になると強調する森氏の講演からぜひ自社・地域づくりを学び合いましょ！
同友会を心から応援してくれる森氏からは「経済の中軸を担う中小企業の発展に繋がる学習会にしたいと思います。ぜひ多くの方の参加をお待ちしています。」とメッセージを頂いています。
9月28日(水)14時からの開催です。会場はプラサヴェルデ(沼津市)、ZOOMでの参加も可能です。詳細は同封する案内をご確認ください！

8月に伊東支部(写真上)と志太支部(写真下)でPRキャラバンを実施！



やっちゃん同友会～新たな時代を切り拓け～
11月18日(金) 第36回全県経営フォーラム
県下400名参加に向けて参加申込を受付中！

既に約100名が参加登録！！

県下会員が集うフォーラムへぜひお越しください！

同友会HPに記念講演・分科会紹介動画を公開中です！

e.doyu または下記QRコードよりお申込みください！



HPでPR動画公開中！

参加登録はこちらから！（会員専用）

日時：11月18日(金) 13:00 開会

会場：静岡市内 ※見学分科会除く

魅力ある8つの分科会と記念講演が皆さんをお待ちしています！
詳細は同封するパンフレットをご覧ください。

グループ長研修

「経営指針書作成から5年 若者が輝く会社づくりへの挑戦！」

8月30日(火) ペガサート(静岡市)&ZOOM

静岡支部青年部と県例会企画委員会の共同開催でグループ長研修を開催しました。

ペガサート(静岡市)とZOOMの併用開催とし、会場20名、ZOOMでは11名の会員が参加。冒頭、宮本浩例会企画委員長

(大栄工業(株)・志太支部)によるグループ長の役割の説明では、同友会活動におけるグループ討論の重要性やグループ長の役割、グループ長の心構えなど資料をもとに説明。

「報告者の話を自分と照らし合わせながら、経験も自らの体験に重ねて聞き、グループ討論でアウトプットすることで、自社に取り入れることができる。そのために同友会では、グループ討論を重視している」と伝えました。

続いて大多和宏明氏(旬セイシメンメタルプロ・静岡支部)が「経営指針書作成から5年若者が輝く会社づくりへの挑戦！」をテーマに自社経営の実践ミニ報告。同友会入会のきっかけや経営指針の成文化と実践、本音を語り合える仲間との出会いを振

り返り、新たなチャレンジと今後のビジョンを熱く語りました。その後のグループ討論は5グループに分かれ、グループ長を代えて3回の討論を行いました。

参加者からは「苦手意識があったが今後は積極的にチャレンジしてみたい」「グループ長での学びが社員の本音を引き出すことに繋がると感じた」との感想がありました。

最後に前例会企画委員長の宮田博文氏(旬ミヤタ印刷・静岡支部)が「繰り返しグループ長を経験することで、経営にも役立つスキルや気付きがたくさんある。今回参加いただいた皆さんには、例会などでも積極的にグループ長を務めていただきたい」とまとめました。

次回は10月19日(水)の沼津例会にてグループ長研修を開催予定です。全県経営フォーラム前の最後の研修となりますので、多くの方のご参加お待ちしております！

8月イントロセミナー

Mission

「自分は何のために生きているのか 自社は何のためにあるのか」

8月26日(金) 同友会会議室&ZOOM

オブザーバーや新会員にむけて同友会を知って頂く機会として、また仲間との交流の場として毎月開催しているイントロセミナー。8月は会員・オブザーバー合わせて

21名が参加しました。牧之原市地頭方で建築・土木設計施工管理・宅地及び建売住宅分譲などをおこなう小塚辰巳氏(小塚建設(株)・代表取締役)が登場。33歳で事業承継し職人体質の会社から組織的な企業へとの思いから経営理念の作成に取り掛かるなど、自分と自社に与えられたミッションを常に考え行動してきました。同友会には200

8年度に入会、その後経営指針を創る会で経営指針を作成、支部役員の経験を経て2021年度から榛南支部長を務めています。

坂本龍馬の言葉である「世に生を得るは事を成すにあり。」を胸に数々の困難を乗り越えてきた小塚氏。「全社員一人一人が主役の会社を目指すこと」「社員とお客様と地域の皆様に共感してもらえらる企業」「アフターサービス重視」などお客様に愛され100年続く企業を目指すためのミッションを掲げ、リーマンショック、土地価格下落による民間工事の激減、公共工事の減少など様々な苦難を乗り越えてきました。

バズセッションでは「自社は何のためにあるのか？」をテーマに、各社の経営課題とそれに対する取り組み、同友会での学びをどのように自社経営にいかしているかを意見交換し、参加したオブザーバーの方からは「時間が足りないほど話が広がった」との感想もありました。次回は9月30日(金)です。ぜひお知り合いの経営者にご参加ください。



小塚 辰巳氏

9月 20日(火)	全県経営フォーラム実行委員会 (19:00 ZOOM)
21日(水)	県政策委員会 (18:00 同友会事務局&ZOOM) 県共有委員会 (18:30 ZOOM) 沼津例会 (19:00 ファルマパレーセンター会議室) 志太例会 (18:30 藤枝市文化センター&ZOOM)
22日(木)	県理事会 (15:00 同友会事務局&ZOOM) 富士例会 (19:00 ロゼシアター&ZOOM)
26日(月)	三島例会 (19:00 三島市民文化会館&ZOOM)
27日(火)	県例会企画委員会 (18:30 ZOOM) 伊東例会 (19:00 伊東商工会議所&ZOOM)
28日(水)	中小企業憲章・中小企業振興基本条例学習会 (14:00 プラサヴェルデ&ZOOM)
29日(木)	中遠例会 (19:00 未定)
30日(金)	会員経営者が語る「イントロセミナー～同友会と私～」(19:00 同友会事務局&ZOOM) 第19期経営指針を創る会⑦ (19:00 ペガサート予定&ZOOM)

10月 4日(火)	県組織増強委員会 (17:30 同友会事務局&ZOOM) 県広報情報化委員会 (19:00 ZOOM)
5日(水)	総務財務委員会 (16:00 同友会事務局&ZOOM)
6日(木)	正副代表理事会 (15:00 同友会事務局&ZOOM)
11日(火)	伊東例会 (19:00 伊東商工会議所&ZOOM) 静岡例会 (19:00 ペガサート&ZOOM)
12日(水)	御殿場例会 (19:00 エピスクエア&ZOOM)
13日(木)	第19期経営指針を創る会⑧ (19:00 同友会事務局&ZOOM) 浜松例会 (19:00 浜松こども館 ザザシティ 浜松中央館&ZOOM)
14日(金)	県共同求人委員会 (19:00 山の家(島田市)) 県障がい者問題委員会オープン勉強会 (19:00 同友会事務局会議室& ZOOM)



《 あなたのスケジュールノートに
必要事項をご記入ください 》

新会員のご紹介 (敬称略) 会員数 1064 名

氏名	社名・事業	所属支部	紹介者
いわい みきや 岩井 幹也	(株)ペンタス 社会福祉・介護事業 (障がい(難病)福祉サービス事業において、就労継続支援A型事業所の運営)	沼津	越膳 徹
かとう ゆうま 加藤 悠真	エントランス(株) 広告代理店 (SNS運用代行、広告代理)	富士宮	磯辺 嘉将
さの あすか 佐野明日佳	Prana Luana マッサージリラクゼーション (アーユルヴェーダ)・美容	富士宮	磯辺 嘉将
わたなべ まさと 渡辺 匡人	富士ヶ嶺 仁農園 プロゴルファー (自然サイクル農園)	富士宮	朝日 康典
きだ あきよし 木田 明良	木田建築工房 建築業 (一般住宅の設計、施工、新築・リフォーム 住宅新築は高性能住宅)	志太	池原 智彦

※新会員の写真はe.doyu「ユーザ名簿」に掲載します。e.doyuからのご確認をお願い致します。

静岡県中小企業家同友会会費 口座振替のお知らせ

口座振替日/2022年10月6日(木)

振替会費/令和4年度下期会費(令和4年10月～令和5年3月)

振替額/県会費30,000円と支部費(※)の合算額

※支部費:伊東・三島・沼津・富士・富士宮・志太・榛南支部は6,000円、
御殿場支部は12,000円、静岡・中遠・浜松支部は無し

※休会者は休会費を振替します。

上記の通り、会費をご指定の口座から振替させていただきますので、ご確認をお願い致します。

なお、領収については、通帳への記帳をもって代えさせていただきます。

納入代行会社は「SMBCファイナンスサービス(株)」通帳印字は「SMBC(ドウユウカイ)」名で引き落としされますのでご注意ください。